

第15回 DAAS運営委員会 議事要旨（案）

（１）日 時：2010年9月30日（金） 午後3時～4時30分

（２）場 所：株式会社日本設計 受付 プレゼンテーションルーム

（３）出席者：敬称略 順不同

運営委員長：三塩（日本設計）

委 員：兼松（日本建築家協会）、竺（建築学会）、有馬（積水ハウス）、
鈴木、早川（日本建築士会連合会）、早川委員代理／安生（日建設計）

事務局：中田（宮城大学）、遠山（慶應義塾大学）、大坪、武藤

国土交通省：遠山

（４）配布資料：DAAS年次総会資料

資料1 第4期（2009-2010年度）事業報告（案）

資料2 第4期（2009-2010年度）収支決算（案）

資料3 監査報告書

資料4 第5期（2010-2011年度）事業計画（案）

資料5 第5期（2010-2011年度）収支予算（案）

資料6 第5期及び第6期理事・監事役員名簿（案）

資料7 会員名簿変更について

資料8 規約第7条第4項に基づく指定代表者の変更について

：DAAS第2回理事会資料

議案1 第5期・第6期 役員名簿（案）

（５）議事：

■承認事項 総会及び理事会提出資料（案） 確認と承認の件

〔議案1〕 第4期（2009-2010年度）事業報告及び収支決算について

○資料1～3に基づき第4期の事業報告、及び収支決算について説明し資料2 収支予算案については9月末日での執行予算案に修正を加え、総会にて提出することで原案通り承認された。また資料公開については以下のような説明及び意見交換があった。

【以下、意見等】

（兼松委員）（事業報告(1)⑥及び⑦の JIA・KIT 建築アーカイブスの資料のデジタル化作業について）JIA・KIT 建築アーカイブスで保有している資料についてデジタル化を行ったということだが、これはデジタル化したデータを DAAS が持ち DAAS ウェブで資料公開をし、現物資料自体は JIA・KIT 建築アーカイブスが保有しているということか。

（竺委員）そうである。

（事務局）ただし、JIA・KIT 建築アーカイブスにはデジタルデータも渡している。

(兼松委員) JIA・KIT 建築アーカイブス (のサイト) でも今後資料公開するという
ことだろうか。または、資料のリストのみ公開するということだろうか。

(笠委員) 役割分担として、公開は DAAS で行うこととしており、独自に JIA・KIT
建築アーカイブで公開するということは考えていない。ただし資料のデジタル
データは資料保存＝バックアップということでコピーを JIA・KIT 建築アーカ
イブスでも保存している。現在、データベースを公開するに至ってはいないが、
今後「この資料に関しては DAAS のサイトへ」というようなリンクを張り、資
料内容がわかるようなサムネイルを表示する予定である。保有している全資料
が DAAS に渡るわけではなく、また全資料をデジタル化して公開することも
考えていない。JIA・KIT 建築アーカイブスは現物資料を保存することを役割
と考えると、現物資料へのアクセスは実際に訪ねてもらうことが良いと考えて
いる。

(兼松委員) その点は、JIA・KIT 建築アーカイブスの委員会で明確にしておく必要
があるのではないか。当初は JIA・KIT 建築アーカイブスで資料公開するとい
うことだったと記憶している。

(笠委員) 当初から「サムネイルは公開する」ということとしていたが「高精彩な画
像を公開する」ということにはなっていなかった。特に図面の場合は文字情報
(リスト) だけでは判断がしにくいいため、内容がわかるようサムネイルを公開
するという予定だった。金沢工業大学の建築アーカイブス研究所は、JIA・KIT
建築アーカイブを所管しており、実質的にその活動を行っているが、JIA・KIT
建築アーカイブに送っていない資料もある。その点は整理をしながら進める必
要があると考えている。

(兼松委員) もう 1 点ウェブ管理について確認したい。公開・非公開は微妙な問題だ
が、統括する責任者、組織としての責任者、つまりウェブマスターは誰となる
のか。

(事務局) 現状では、事務局はある方針を打ち出し、それを委員会に諮り承認された
事を決定事項としているので、ウェブマスターという存在ははっきりしていな
い。決定機構は委員会であり、各コンテンツの公開・非公開は、資料提供者の
意向である。第 4 期までで収蔵した資料も、収蔵したものの基準がぶれないよ
う受賞作品というフィルターを経たものという方針に則って選んできた。

(兼松委員) JIA・KIT 建築アーカイブからの資料は一部その方針が違うのではない
のか。

(事務局) 町並み、景観保存などの補助金事業の主旨があり、資料をご提供いただ
いたので必ずしも受賞作品だけではない。

(兼松委員) それが問題ということではないのだが、このようなコンソーシアムとい
う組織では、公開・非公開等の問題が起きた時に誰が責任をとるのかというこ

とが気にかかっている。

(笹委員) JIT・KIT 建築アーカイブスが収蔵している資料に関しては原則公開することで著作権者と契約し、資料を譲り受けている。そのため DAAS にこちらからデジタルデータの公開依頼をすることは、実際には問題ないと思っている。

(兼松委員) JIA・KIT 建築アーカイブスから資料提供者に DAAS ウェブでの公開を伝えておく必要があるのではないか、ということである。

(笹委員) 公開については、契約条項として含まれている事項である。個別に許諾をとる必要はないのではないか。

(事務局) DAAS ウェブでは著作権のクレジットを JIA・KIT 建築アーカイブスと明記することにしているが、それ以外の資料提供者について公開了解をとる必要があるということだろうか。

(笹委員) 礼儀として DAAS ウェブでの公開を資料提供者に伝えるということはあると思うが、権利関係の整理としては、公開することを前提に契約し、著作権を譲渡して頂いているので、権利として DAAS ウェブでの公開について資料提供者に伝えることは義務ではない。また権利関係には抵触しない。

(事務局) DAAS から提供者に公開についての文章を提出する必要があるか。

(有馬委員) DAAS から文章を出すことは、かえって問題が複雑になるのではないか。クレジットを出しているので DAAS としてはそれで十分ではないか。

(笹委員) 文章を出す際は JIT・KIT 建築アーカイブスが行う。

(兼松委員) 何か問題があったときは責任の所在はどこにあるのかということが気がかりである。

(笹委員) JIA・KIT 建築アーカイブスの資料を DAAS で公開するにあたっての全責任は私共にある。

(事務局) JIA・KIT 建築アーカイブスの資料の公開に限ったことではなく、提供にされ DAAS のウェブに公開されている資料のセキュリティの問題も一方にある。それは認識している。我々の問題としても考えたい。現在は解像度によりセキュリティの操作をしている部分もある。これまでウェブマスターの存在ということを検討事項としていなかったわけだが必要だろうか。

(鈴木委員) 海外では、サイバー攻撃などを受け、著作権がある資料を無断で使用されているという例もある。DAAS はセキュリティを含めて慶應義塾大学に委託をしているはずなので、その点では慶應義塾大学がウェブマスターということになるのではないだろうか。

(事務局) 本件は明確にしておく必要があるので委員会の議事録として記録を残し改めて委員会でフィードバックしたいと考える。

(事務局) ウェブ改修の進捗報告を追加したい。現在、DAAS ウェブのトップサイト (<https://www.daas.jp>) のニュースとして特設サイトへのリンクがあるが、

新規ウェブについてはこの特設サイト（<https://new.daas.jp>）で公開している。しばらくの間、旧ウェブとこの特設サイトを併用し、いずれは、新規ウェブ自体を <https://www.daas.jp> に切り替えるという作業を行う予定である。

[議案2] 第5期（2010-2011年度）事業計画及び収支予算について

○資料4、5に基づき、来期の活動方針と予算について説明を行った。

[本議事要録にて事務局追記]

資料5 第5期(2010-2011年度)収支予算(案)については、以下の訂正を加えて総会資料と致します。

期間:(誤)2009年10月1日から2010年9月30日の表示

(正)2010年10月1日から2011年9月30日に訂正

[議案3] 理事・監事選任について **その他総会資料 報告事項について**

○資料6に基づき、第5期、第6期の新任理事についての説明を行った。監事案については、日本建築士会連合会会長 藤本昌也氏、建築技術教育普及センター 浅野宏氏を推薦したい旨事務局より委員会に説明を行った。10月25日に開催される総会での資料6理事・監事名簿案（2010年10月改訂）については両氏を監事とし訂正することで承認された。

○資料7会員名簿案に基づき、新規会員及び退会会員等の変更点について事務局より口頭で説明を行った。また、資料8指定代表者変更の報告資料については、改訂日時の2009年10月を2010年10月に訂正、また社団法人建築設備技術者協会の会長名の変更前氏名を牧村功氏に訂正することで承認された。

[議案4] DAAS第2回理事会議案 役員選任の件

○DAAS第2回理事会資料 第5期・第6期役員名簿案に基づき、役員案の説明を行った。また議案3で承認された通り、監事を藤本氏、浅野氏と訂正するとともに、副理事長案については日本建築家協会 芦原太郎氏、日本建築士事務所協会連合会 三栖邦博氏を推薦したい旨事務局より口頭にて説明し、承認された。

[その他]

【笹委員よりWorld Guild Registryについて報告があった】

・ 要点

- コロンビア大学のエヴァリ建築図書館、カナダ建築センター、王立英国建築家協会（Royal Institute of British Architects : RIBA）が中心となり英語圏の建築アーカイブ＝World Guild Registry（WBR）（一種のデジタルアーカイブ）の立ち上げを行っており、Institute for Library and Museum Service : IMLSに寄付金、助成申請をしている。
- その委員として笹委員に活動への参加要請がきているため了承をした。
- また英国建築図書館の館長Dr. Irena Murrayに会う機会があり、WBR、建築だけでなくランドスケープを含めた世界規模のデジタルライブラリーの活動について説明し賛同を得た。その際にDAASについて説明を行った。

【以下、意見等】

（笹委員） DAAS でも英語化の問題などがあがっているが、今後 WBR のような活動とリンクを貼っていくということも活動が広がっていくのではないだろうか。

（事務局） DAAS でも資金については重い問題である。先ほどの笹委員からの報告にあったように、公的期間からの資金援助も第5期以降検討しなければならないと感じている。会員の費用負担は今後更に問題となっていくように思われる。第5期迄は資料収蔵事業に注力をするが、その後5年の活動計画と併せて、違う視点での資金援助も本期で検討していきたいと考えている。